

電子情報通信



キーワード：サイバー犯罪、プロファイル分析、脅威分析、情報セキュリティ対策

サイバーインテリジェンス・情報セキュリティ

経営学部 経営学科 教授
針尾 大嗣 HARIO Daiji

研究の内容

現代企業に深刻な影響を及ぼすサイバー攻撃・サイバー犯罪について、攻撃者の意図・能力・組織的背景を体系的に分析するサイバーインテリジェンス研究を進めています。特に、攻撃者のアトリビューション（特定）に用いる分析モデルの開発に注力し、その行動特性・目的・資金源・技術力を多角的に評価する枠組みを構築しています。加えて、企業の最も脆弱なポイントである「従業員」を狙った新たな攻撃手口・対策の研究を行っています。標的型メール、ビジネスメール詐欺、ソーシャルエンジニアリング、取引先を経由した侵害など、近年高度化する“人を起点とした攻撃”の実態を分析し、企業の内部統制・リスクマネジメントにおける人的リスクの位置づけを再定義しています。

また、AIを悪用した攻撃自動化・詐欺、暗号資産を利用した資金移動、ダークウェブなど、新たな技術環境で発生する高度なサイバー犯罪の動向を継続的に調査しています。これらの研究を通じて、従来のセキュリティ対策では捉えきれない“次世代型サイバー脅威”の構造を明らかにし、企業が直面するリスクを経営判断に活かせる形で体系化することを目指しています。

産学連携・社会連携へのアピールポイント

警察機関・自治体・企業との連携で得た実務知見をもとに、企業のサイバーリスクを“経営判断に使える形”で可視化する支援を行っています。攻撃者の意図・能力を読み解くアトリビューション分析に基づき、取締役会・監査役会におけるサイバーリスクの説明責任を強化する助言が可能です。また、サイバーレジリエンスの向上、レピュテーションリスク対策、インシデント発生時の意思決定支援など、企業のガバナンス体制にサイバーリスクを統合するための実践的な支援を提供します。さらに、経営層だけでなく現場部門とも連携し、組織全体でサイバーリスクに対応できる体制構築を支援するとともに、従業員向けの基礎的なセキュリティ教育にも対応しています。

研究室ホームページ（針尾 大嗣）

URL : <https://www.hariolab.net/>

